

令和3年3月3日

No.171

あおがき

発行／大分大学教育学部
附属中学校PTA
発行責任者／澤野充幸
編集／PTA広報委員会
印刷／株式会社さかもと



1967年(昭和42) 鉄筋校舎落成



1960年(昭和35) 附属中学校舎・グラウンド



1979年(昭和54) 30周年記念時の校舎



2020年(令和2) 現在の附属中学校

扉をひらく～私の個性が可能性

ターニングポイント “新たな日常”

義務教育の最終段階として 1947年に始まった「中学校」
戦後まもない当時も 人生100年といわれる現代も
「中学生」という時間は かけがえのない3年間
附中生472人 私たちの学びは いま確かにここに在る
かつてなく長い永い人生の礎として
限らない可能性を秘めて

高等学校教育課程 2020年度から 18歳に引き下げ

時代を超えて 附中生のまなびに 保護者も学ぶⅢ 未知を描き、道を創る 「中学校で」映像表現を学んだ先駆的な3年生！

2年 A組 2年 B組 2年 C組 2年 D組 2年70時間 「私」が創る、未来のわたし

時代を超えて 附中生のまなびに 保護者も学ぶⅠ 探究の源泉「総合」 「キャリア教育Ⅰ」私が創る、未来のわたし

1年50時間 「キャリア教育Ⅰ」 労働観／将来に必要な資質・能力 「総合」で目指す「生きる力」

「総合」の前段階、系統立てた単元として「生活科」を履修 魅力「仕組みや価値など」人々の考えや願いを知る



厚生労働省が昨年7月末に発表した簡易生命表によると、日本人の平均寿命は女性87.45歳、男性81.41歳となり、ともに過去最高を更新。世界屈指の長寿国日本では、寿命が延びる＝働く期間が長くなる、時代の進化＝スキルの更新、といった個々の人生設計にも多様な変化が求められています。では、その変化とは具体的に何なののでしょうか。今号では、保護者世代も含めた持続可能な成長を視野に、前号に引き続いて「附中生の個性」の発展を見据え、学びの姿に迫っていきます。

いま 世界の産業は？

第4次産業革命に突入 「インダストリー4.0」は現在進行形!!

インダストリー4.0¹⁾²⁾とは ▶

2016年スイスのダボスで開催された世界経済フォーラムで、ドイツ政府が公表した製造業の国家戦略プロジェクト。「スマートファクトリー(考える工場)」をコンセプトとする人類史上4回目の産業革命であり、ロボット工学、人工知能(AI)、生物学、ナノテクノロジー、量子コンピュータ、モノのインターネット(IoT)などの技術革新を指す。生産・流通プロセスのデジタル化、自動化、バーチャル化により人類進化は次のステージに進むといわれている。



※ダボス会議U85白書(2016年1月)
"Extreme automation and connectivity: The global, regional, and investment implications of the Fourth Industrial Revolution"

日本社会が目指す姿は？

「Society5.0」超スマート社会へ

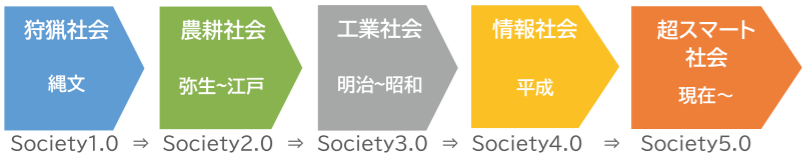
キーワードはIoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータ

Society 5.0³⁾とは ▶

2016年、第5期科学技術基本計画の中で、日本が目指すべき未来社会の姿として内閣府が提唱したビジョン。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、持続可能な人間中心の社会(Society)。

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、人類史上5番目の新たな社会を指す。

IoT(Internet of Things)で人とモノがネットを介してつながり、知識や情報が共有され、人工知能(AI)などにより新しい価値やサービスが生まれることで、少子高齢化、地方の過疎化、経済格差などの諸問題が克服される社会を目指す。

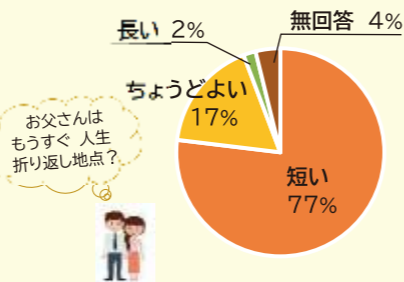


要点整理 インダストリー4.0 と Society 5.0

【共通点】	【相違点】
<ul style="list-style-type: none"> ● 政府主導型の技術革新 ○ ドイツ政府が主導=インダストリー4.0 ○ 日本政府が主導=Society5.0 ● 基幹技術は IoT、ロボット、AI 	<ul style="list-style-type: none"> ● インダストリー4.0：製造業がメイン ● Society5.0：社会のしくみがテーマ ○ 経済成長や健康長寿など多分野に渡る

Q. 人生100年といわれる現代、中学校3年間をどのように感じますか？

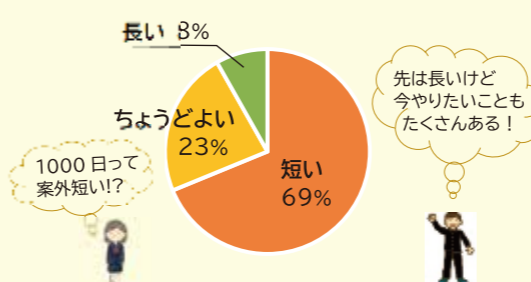
保護者 / 現PTA役員52名 (2020.8.4調査)



3年間は「短い」との回答が多数！中学校が義務教育3年と定められた当時の平均寿命は女性53.96歳、男性50.06歳⁴⁾。30年以上寿命が延びた今、保護者目線ではより長期的に中学校での学びの変化が見えているかもしれません。

Q. いま、中学校3年間という時間をどのように感じていますか？

生徒 / 452名 (2020.8.26調査)



附中生も保護者と同じく、3年間は「短い」との回答が約7割を占めています。その理由として「学ぶ内容に対して時間が短い」「勉強しているとあっという間に過ぎる」といった現役中学生ならではの切実な声が聞こえてきます。

扉をひらく 飛躍知に注目!

そのカギは？

● まず、「飛躍」の基本的な意味を辞書で見えます。

1. 飛び上がること。跳躍。
2. 大きく発展して活躍すること。また、急速に進歩・向上すること。
3. 順序や段階をふまずに、急にとびはなれたところに移ること。

参照: デジタル大辞林、大辞泉第三版

● 皆さんは「飛躍知」の言葉から何をイメージするでしょうか？

世の中がどんなに進化しても、新たな社会をつくるのはいつも「ひと」であり、私たちの「学び、知性」によってであることを、この「飛躍知」という文言に読み取ることができるのではないでしょうか。

● では、革新の源泉となる知の創造とは？…附中生はそのプロセスを「総合的な学習の時間」で学んでいるようです。次のページで授業の様子をのぞいてみることにします。

国際社会の共通目標は？

「SDGs」達成期限はあと10年！豊かで活力ある未来を創る

SDGs⁵⁾とは ▶

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年国連総会で採択された国際目標。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、2030年を年限とする17の国際目標、その下に169のターゲット、232の指標が決められている。17の目標は、世界共通で誰もがわかりやすいように、カラフルなアイコンで表示されている(右図)。

持続可能な世界へ「行動の10年」できることから始めよう!



SDGsの目標4では教育分野の目標が掲げられ、日本政府は「質の高い教育をみんなに」を実現するために国際的・地域的なネットワークの構築と拡大を進めている。国内では大人の生涯学習やキャリア教育に注目した「リカレント教育」に取り組み、子どもから大人まで包括的な教育の実現を目指している。

学びの方向性は？

2021年度改訂！中学校の「学習指導要領」

学習指導要領⁶⁾とは ▶

全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準。「学びの地図」ともいわれ、これをもとに教科書や時間割が作られ、10年毎に改訂される。今回の改訂では、予測困難なこれからの時代に子どもたちの「生きる力」を育むという目標があり、学校、家庭、地域の関係者が幅広く共有し活用できる枠組みが提示されている。教科や学校間の垣根を超え、さらには保護者も地域も子どもたちを育てる方向と一緒に学び、学習の意義や役割を共有し、幼・小・中・高校まで教育の成果を連結させていくことが期待されている。



これからの社会で求められる力とは？

2018年 文部科学省 「Society5.0に向けた人材育成」で 学びの在り方の変革を提唱

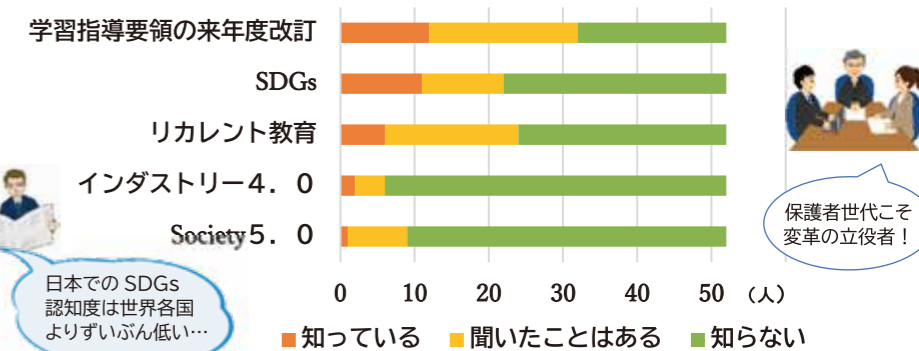
◆◆ “学びの在り方の変革”とは ◆◆

AI技術の発達する Society5.0 の社会では、産業・働き方が大きく変化する。

日本の課題	人間の強み
<ul style="list-style-type: none"> ● AIに関する研究開発の人材不足 ● 少子化 ● つながりの希薄化 ● 自然体験の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現実世界を理解し意味づけできる感性 ● 倫理観 ● 板挟みや想定外と向き合い調整する力 ● 責任もって遂行する力
<p>新たな社会を牽引する人材として求められる人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材 ★ 技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材 ★ 様々な分野においてAIやデータの力を最大限活用し展開できる人材 	<p>これまで通り共通して必要な力</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 文章や情報を正確に読み解き対話する力 ★ 科学的に思考・吟味し活用する力 ★ 価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

“新たな日常”をつくるキーワード！保護者の皆さん ご存じですか？

次の5項目について、現役員さんに認知度をたずねました 2020.8.4 アンケート/回答数52



日本でのSDGs認知度は世界各国よりずいぶん低い...

保護者世代こそ変革の立役者!

社会の第一線で活躍中の保護者世代は、まさに20世紀から21世紀へのバトンをつなぎ、変革の先頭に立ってきた世代。世紀末に蓄えた知識・技術を新世紀でたえまなく更新しながらキャリア開発し、次世代の育成も担っています。お父さん、お母さんも日夜頑張っています!